

事業計画書

(くすのき補助金)

<p>事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ</p> <p>必要性</p>	<p>社会情勢の変化が激しい中、生き方、お金に関する価値観の見直しを迫られている。しかし、今の子供たちの親にはお金の教育するための経験や体験が乏しく、教えられる術を持っていない。子どもたちが金銭教育を十分に受けぬまま若者へと成長した時、多重債務者に陥りやすいというデータが出ている現在、この部分の教育に力を入れ、早急に子決する必要がある。また、金融経済教育・キャリア教育は近年必要性があると認められているものの、教育事業の実施は不十分である。市民の金融経済や子どもに対する金銭教育・職業教育への関心が高まってきている今、この地域での事業を実施し、不安を抱える保護者の支援体制を確立する必要があると思われる</p>			
<p>事業内容</p>	<p>主な内容</p> <p>実効性</p>	<p>1. 夏休み自由研究お助け隊~お小遣いの使い方を学んでオリジナル貯金箱を作ろう</p> <p>2. 君も今日からパン屋さん~パン屋さん経営ゲームで経済を学ぼう</p>		
<p>スジュール</p> <p>実効性</p>	<p>予定日</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月上旬</p> <p>9月</p> <p>10月下旬</p> <p>11月~1月</p>	<p>予定内容</p> <p>事業の説明、内容確認・役割分担</p> <p>チラシの作成・配布</p> <p>最終打ち合わせ 事業1準備</p> <p>事業1実施</p> <p>事業2準備</p> <p>事業2実施</p> <p>事業総括 報告書作成等</p>	<p>予定会場</p> <p>市民センター</p> <p>会員事務所</p> <p>市民センター</p> <p>市民センター</p> <p>会員事務所</p> <p>市民センター</p> <p>会員事務所</p>	<p>参加者数見込</p> <p></p> <p>30名</p> <p>20名</p>
<p>実施体制① (実施メンバー)</p> <p>実効性</p>	<p>・マネーじゅく@豊橋メンバー7名</p> <p>・(一社) 自立のための生活経済教育推進協議会 会員3名(講師)</p> <p>・暮らしのお金を考える会みかわ 会員他 9名(ワークショップスタッフ)</p>			
<p>実施体制② (団体の特性)</p> <p>専門性</p>	<p>1. 代表、副代表、会計、今回依頼する講師・スタッフ全員が金融関係の資格(1級・2級ファイナンシャル技能士・CFP・AFP)を持ち、資格に関連した人的ネットワークをもち、専門知識を持つ協力者が多数いる。独自性の高いオリジナルツールと幅広い年齢層に対応できるプログラムを持つ。</p>			
<p>目新しさ ユニークさ</p> <p>先駆性</p>	<p>金銭教育活動は東三河各地域において継続実施できる団体は、現在、マネーじゅく@豊橋だけであると自負している。また、ワークショップが子どもだけの参加ではなく「親子参加型」であり、保護者も同時に学べる。</p>			
<p>市民(地域)への効果</p> <p>公益性</p>	<p>1. 様々なプログラムで金銭教育を受けていない子どもと保護者世代に学びの機会を提供することで、家庭内教育のフォローとサポートを行う。その結果、健全な金銭感覚・職業観を持った若者が育ち、昨今社会問題化している「多重債務者」の増加に歯止めをかけることができる。</p> <p>2. 保護者の金銭教育や職業教育への必要性に対する意識が高まり、地域で子どもたちに対するこのような教育が受けられる機会や場の実施に対して、積極的にかかわるようになる。これによって、地元の経済、産業に対する理解をより深めるようになり、地域の課題とその解決に向けて自らが考え、行動するようになる。</p>			
<p>今後の取組</p> <p>継続性</p>	<p>*ワークショップ、授業プログラムの作成と実施できるインストラクターの養成</p> <p>学校の総合学習で実施できるプログラムの作成と教師を目指す学生やワークショップに参加した保護者の中からインストラクターを養成するための講座を実施する。</p>			